

広 報

いかわ

あけまして
おめでと〜うござい〜ます

町内のとある民家の庭先で見つけた
さざんかの花。
寒空の下、わた雪をかぶり冬本番を
迎える一。

2011
January

平成 23 年
1 月 1 日発行

1

新春 町長インタビュー

あけましておめでとうございます。
年頭にあたり、齋藤町長に町政の現状や
これからについて伺いました。

▼2010年を振り返って総括 をお願いします

昨年は、全国各地で豪雨や暴風などによる自然災害が相次いで発生しましたが、幸いにして町では、大きな被害も無く済み、加えて年間無火災を達成することができ、胸をなで下ろしているところですよ。

しかし、交通死亡事故が町内で2件発生したことは、非常に残念であり、ご遺族の方々には衷心よりお悔やみ申し上げます。ともに、今後、安全安心のまちづくりの観点から関係機関と連携して交通安全指導体制の強化に努めたいと考えています。

また、夏場の気温が高く、暑かった記憶が強く印象に残っています。この影響もあって、米作は作柄、品質ともに大幅に一昨年を下回り、景気の低迷とも相まって地域経済へ与えた影響は大きいものでした。

▼社会情勢をふまえて産業振興 の道筋をお聞かせ下さい

唐突な形で出てきた感が強いTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）問題ですが、確かに貿易を拡大することは日本経済の将来にとって重要な要素ではあります。しかし一方で農業のみならず、金融やあらゆるものが例外なく解放されるという状況は、国内産業に大きな影響を与えることが懸念されています。

農村部としては基本的に「反対」であることには変わりありませんが、しかし国際社会の中でこのまま「反対」が未来永劫に続くかと言うと、そうした訳にはいかないだろうとも考えています。従って、農業の体質強化などの対策を急がないと、壊滅的な影響を受けてしまいますし、同時に農村地帯は崩壊してしまう恐れがあります。

農産物は、低価格競争しているのは外国産に到底太刀打ち出来ませんから、同じ作物でも付加価値を見出して、単価の高いものをつくり出す、こういう点を目指していかないと勝ち残っていけないと思います。

例えば、比内地鶏は1羽当り3千円以上しますが、それでも需要がありません。これが外国産鶏であれば数百円で取り引きされているのが現実です。価格で低いところと競うのでは無く、『比内地鶏』や『北限の桃』、『稲庭うどん』のように、地域の産物をブランド化する方策への取り組みを急がないといけないと考えています。

TPPが実行になれば、日本の農業生産が9割減、340万人の雇用が失われるとの農水省の試算もあり、いずれそうした状況に備えていかなければなりません。



齋藤 正寧 町長

グローバル化し、企業は安い労働力を求めて海外に出ていく時勢の中で、リーマンショック以降、日本社会でも失業者が増加している上に、派遣労働者の仕組みなどにより正規雇用へ結びついていないのが現状です。町内でも就職できない若年者や中堅層の失業者が見受けられ始めており、産業振興と雇用の両面で深刻な課題の一つと危機感をいだいております。

▼湖東病院の改修について現在の 動向をお聞かせ下さい

湖東病院については、県とJA厚生連、地元自治体との3者協議を進めてきており、昨年11月下旬に再編計画が公表されたところです。

湖東病院問題については一昨年前、JA厚生連の経営改善計画の中で「廃止が有効な手段で

閉塞感が強いこの時こそ、

地域の一人ひとりが底力を発揮して、
地域の活力を生み出してほしい。

公共事業については、道路、側溝整備、街灯の新設・取り替えを中心に、町で発注するものは出来る限り対応してきましたが、長引く不景気の中で所得を得る機会が減っており、町民生活に深刻な影響を与えています。雇用の創出という面からも草刈りや施設管理など、町として可能な範囲で労働の機会を提供してきたもののやはり限界がありました。

そしてトータルで振り返ると湖東病院の医師が相次いで退職、入院機能が停止するなど、再編計画も含め、湖東病院問題に振り回されたという思いが強に残った一年でありました。

そうした中でも、町政運営は自立計画に基づく集中改革プランなど計画どおりに進めることができましたし、また最大事業としていた中学校改築の着工にこぎ着けたことは、大きな成果であったと考えています。

ある」との安易な記述が、こうした病院の崩壊の引き金につながってしまったことは、非常に残念でなりません。厚生連自体が当事者としてどこまで努力してきたのか、個人的には不信の念を抱かざるを得ません。

しかも再編計画においては、慢性病患者の内科診療のみとした高齢者対応が中心の病院となり、先進的な専門医が確保できるのかと言えは難しいと言わざるを得ません。確かに医師の絶対数は増えているものの専門医指向が強くなり、医療設備の整った大病院、強いては都市部への集中により、秋田大学を含む、地方の大学に医師が戻ってこないというのが実情です。それゆえに、病院の中身を魅力あるものにしていかない限り、医師を確保することは難しいでしょう。

今後は、県立を含めた公設病院とするなど、大胆な発想の転換が必要ではないかとの提案をしているところ。また、町内でも若い世代を中心に、完全に核家族志向になってきています。このことで家庭内の相互扶助力が失われつつあると感じています。

▼現代の地域コミュニティのあり方について、感じることをお聞かせ下さい

通常、家族みんなが元気で過ごしている内は良いのですが、まさかの事態が発生したときに助けられないという深刻な状況となる恐れがあります。また、子が年老いた親の面倒を見るのが難しくなっている状況も見受けられます。多くの核家族世帯では両親が共に職を持っている場合が多いものですから、いざという時に仕事を休めるかという点、現実問題として難しいのではないのでしょうか。

家族構成が変わったのと同じように、地縁社会が失われたとも言えます。一昔前までは集落をあげて農作業に取り組まなければいけなかったものが、機械化など作業効率があがったことで、助け合いの場面が少なくなってきました。地域社会の中でコミュニティの土台が薄れ、本当に困った時に誰が助けてくれるのかといった、深刻な事態が発生してくることを危惧しています。



また、これまでの農村部で、そのほとんどを女性が担ってきた地域での役割が、女性自身が社会に出て勤めざるを得なくなり、機能しなくなってきました。女性が社会に出て活躍されること自体は、大変意義のあることでありますが、そのことで日中の地域には高齢者しか残らないというのが現状です。だからこそ、今年度より取り組みをはじめた『リフレッシュサロン』のような、地域の高齢者たちが楽しみを共有し、地域の民生委員や婦人会、食生活改善推進協議会員らとの世代間交流を図りつつ、その集いを通じて

コミュニティを再生する仕組みが大切になると考えています。その一方では、各世代ごとに関わりの生活において新たなつながりが広がっているのを見受けられます。歌や絵、体を動かしたりなど、趣味を同じくする集まりや、若い世代ですと子ども部の活動を通じたつながりといった、目的を同じくする集まりが出来てきています。こうしたつながりを広げていくことが、互いに住みよい地域社会を築く基礎になると考えます。

▼今後の地域再生に向けての重点をお聞かせ下さい

やれ効率化だとか、行政で何か無駄なことをしていないかという社会風潮の中で、「町の無料巡回バスは無駄だ、廃止しろ」という声の一部の住民の中に確かにあります。一方で、一人暮らしの高齢者が160人、また高齢者のみの世帯も160世帯を超えており、その中には買い物へ行く手段が無い方も現実にはいます。そうした人がいる状況にイメージできない無関心さも一部に見受けられます。

全体がばらばらになってしまいません。しかし、言い替えば若い人たちも仕事だ、家庭だと生活に追われて忙しく、とても高齢者のことを考える余裕が無くなっているのかもしれない。その中でも、地域を見れば、子どもたちが学業や部活動にがんばっている姿に励まされる場面も多く、大変喜ばしく思っています。昨年、着工した中学校改築にあたっては、学校施設は児童生徒にとつて、学びの場となると同時に、生活の場でもあるということを考慮しながら、しっかりとしたものを作らねばならないとの思いを強くしているところ。さらに少子化の中で、将来的には小学校を統合した形での学校運営、加えて小学校舎の再利用の方法など、町民のみならずからも知恵を出し合っていた力を生み出していくステップにしていきたいと考えています。

若い世代が高齢者のことを考え、

高齢者は若い世代のことを思う、

お互いを思いやり、支え合うことが

社会生活の礎ではないでしょうか。

また、団塊の世代の多くが退職し、地域に戻ってきています。知識や技術、経験などを多く有するこの世代の方たちが、地域社会の中でどう活動できるのか、この辺に地域の活力を見出し、出ていく鍵があることは確かでしょう。

いかわ この一年



4月

- 住民の力を合わせて地域をきれいに
／春の全町一斉清掃
- 町内会会長に小玉昭夫さん（寺沢）が再任
／町内会長会議
- 小林繁美さん（菟田）が保護司として藍綬褒章を受章
- ステージイベントは雨天候により中止されるも
期間中6万人の観桜客でにぎわう
／日本国花苑さくらまつり
- 井川町水洗化リフォーム補助金事業を開始

5月

- 板橋支部会員5名が来町し、継続した交流を再確認
／井川町企業懇談会・東京商工会議所
板橋支部との異業種交流会
- 247人がゴールを目指して健脚を試す
／第19回はつらつ歩こう会

6月

- 今年度より“こども手当”が支給開始
- 地域の共有財産・八郎湖岸クリーンアップ
- 391人が参加し、まちづくりへ意見を交わす
／まちづくり懇談会
- 年に1回の健康チェックに1,580人が受診
／循環器健診・各種検診



1月

- 地域防災への決意を新たに
／井川町消防団出初式
- 新しい農家の代表・農業委員11名が決まる
／井川町農業委員選挙
- 東・西婦人会の統合から10年の節目
／井川町婦人会統合10周年記念式典
- 井川町が全国優良町村として表彰される
／全国町村会長表彰を受賞

2月

- 周辺4町村の住民より湖東病院の存続を求める署名が秋田県及びJA秋田厚生連へ提出される
- 101人が集い、人生の節目を祝う
／合同厄払い・還暦祭
- 各競技で活躍された3団体・28個人を表彰
／井川町スポーツ栄光賞
- 町のスポーツ振興を決意し合う
／井川町体育協会創立40周年記念式典

3月

- 地域医療の存続に住民らが立ち上がる
／湖東病院を守る住民の会設立
- 小学校54名・中学校49名が学び舎を後にする
／井川小学校・中学校卒業式





7月

- 日頃の訓練の成果を競い合う
／町消防団小型ポンプ操法・規律訓練大会
- 町の投票率 71.55% ／参議院議員通常選挙
- 相撲・個人戦で安田走さん、柔道・個人戦 73kg級で伊藤輝さんが全県優勝し全国・東北大会へ
女子バスケットボールが準優勝し東北大会へ
／秋田県中学校総合体育大会
- 住民が望む地域医療の姿を語り合う
／湖東病院を守る住民シンポジウム

8月

- 平和への誓い新たに ／井川町戦没者追悼式
- 49人が新成人の決意を胸に ／井川町成人式
- 夏の夜に趣向をこらした衣装で舞う
／全町盆踊り大会
- 町民球場へ会場を移して盛大に開催
／町民体育大会
- 女子バスケットボールが東北大会準優勝、全国大会出場を決める ／東北中学校総合体育大会

9月

- 297人が元気な笑顔を見せ合い敬老を祝う
／井川町敬老式
- 特別養護老人ホーム「さくら苑」開設10周年の節目を祝う
- 第4次総合振興計画審議はじまる
／井川町総合振興計画審議会委嘱状交付

10月

- 秋色に色づく井川路を力走
／第25回アップルマラソン
- 農家自慢の一品や各種活動の成果を披露
／井川町産業祭・町民文化祭
- 三浦金助さん 100歳の誕生日を迎えられる
- 井川町体育協会が生涯スポーツ優良団体として文部科学大臣表彰を受賞

11月

- 鈴木孝さん（小泉）が地方自治功勞により旭日双光章を受章される
- 鷲谷一四さん（海老沢）が生活衛生功勞により旭日双光章を受章される
- ふるさと井川を懐かしむ
／首都圏ふるさと井川会
- 高齢社会の明日を拓く～地域のつながりを力に
／いかわを拓く町民のつどい
- 新校舎に思いを寄せ、工事の安全を祈願する
／井川中学校改築起工式

12月

- 地域福祉の支えとなる民生・児童委員に委嘱状を交付 ／井川町民生・児童委員協議会
- 町内全域で光インターネット接続サービス開始





12月定例会

議

会

12月定例議会が12月14日から15日までの会期で開催されました。本会議では町長の行政報告に続いて、3議員から一般質問が行われたほか、町から上程された平成22年度補正予算など11案件が、原案どおり可決・同意され、閉会しました。行政報告の要旨および可決された主な案件についてお知らせします。

行政報告要旨

①米の出荷状況等について

平成22年産米の出荷状況については、県から示された生産数量目標の6万9,650俵に対し、農協等と出荷契約を締結した数量は5万7,894俵となっております。11月末日現在の出荷数量は4万8,450俵、契約数量比約84%となり、前年同期より14ポイントの減となっております。また、加工用米につきましては契約数量2,913俵に対し2,390俵となっております。

一等米比率は、カントリー搬入分を除き80%で、昨年より16ポイントの低下となりました。田植え直後の低温や日照不足、7月下旬から9月上旬の間、夜温の高い日が続いたこと、9月中旬以降の秋雨前線や低気圧の通過に伴う強風、強雨による倒伏等悪条件が重なったことにより、県中央地区の作況指数は90で、昨年比7ポイントの低下となりました。

米戸別所得補償モデル事業の定額部分及び水田利活用自給率向上事業の支払いについては去る11月11日に各農家に支払われ、変動部分については年度末の予定とされています。

また、県、町の助成分は年内の支払いに向けて準備を進めています。

②上井河地区ほ場整備について

県営による上井河地区のほ場整備の状況は、受益者同意もほぼ終え、22年度予算3億4,900万円で約30ヘクタールの面工事を実施予定しています。エリアは東部ほ場整備事業境界の東側から広域農道までとなり、今後、受益者の要望や県道、町道拡幅計画等とすりあわせながら実施設計し、来年度着工となります。

なお、このエリアの転作については、県からの生産数量目標が示され次第、地元の意向や状況をふまえ、調整を図りつつ、事業推進に努めてまいります。

③子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種の助成について

国では、少子化対策の一環として、中学一年生から高校一年生までの女子に対して、子宮頸がん予防（HPV）ワクチンの接種を進めています。標準的な接種パターンは、3回（初回接種から1カ月後に2回目、さらに6カ月後に3回目）を想定しています。接種費用は1回当たり、1万5千円程ですが、平成23年度末まで、国45%、県5%、町50%の助成を行い、接種者は無料で受けられます。

なお、町では助成開始が年度途中であることや、予防接種についての啓蒙期間等を考慮し、平成25年度末

◆公共工事等の発注状況◆

▽上村二号線改良舗装工事	契約額 14,763千円	／ 有限会社三嶽建設
▽公共下水道幹線管渠築造工事	契約額 34,545千円	／ 菅与・鈴木特定建設共同企業体
▽天神新間線舗装補修工事	契約額 3,517千円	／ 株式会社菅与組
▽飛塚四号線外舗装補修工事	契約額 3,622千円	／ 株式会社菅与組
▽室内練習場解体工事	契約額 4,168千円	／ 有限会社鈴木建設

※千円未満を切り捨て記載します。

まで、接種助成年齢を20歳未満まで引き上げ、全額町負担の単独事業を合わせて実施する考えです。

次に、ヒブ髄膜炎予防のためのヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチン接種についてですが、標準的な接種パターンは、0歳時に3回、1歳時に1回の追加接種となりますが、初回接種時の月齢（年齢）により接種回数異なりますので、乳児検診や健康相談、かかりつけ医と相談のうえ、接種していただきたいと存じます。接種費用は1回当たり、9千円程ですが、子宮頸がんと同じく、国45%、県5%、町50%の助成を行い、接種は無料で受けられます。

◇可決された案件等◇

□井川町住民生活に光をそそぐ基金条例を制定しました。
内容は、平成22年度地域活性化交付金のうち900万円を基金に積上げ、平成23年度以降に支出するものです。

□光ファイバ芯線等の賃貸借に関する契約を締結することについて承認されました。内容は、現在、敷設している光ファイバのうちI-P告知システムで使用する以外を、東日本電信電話株式会社（NTT 東日本）に年間247万9,618円（平成22年度は72万6,851円）で賃貸し、同社を通じて各プロバイダ業者に開放して光インターネットサービスを提供しようとするものです。

□平成22年度井川町一般会計補正予算に、歳入歳出それぞれ1億6,820万円を追加し、予算総額を34億5,000万円としました。

【補正の主な内容】

- 井川町特別養護老人ホーム及びケアハウスへの
消化薬剤による消火設備設置事業費 8,920万円追加
- 庁舎冷房施設整備事業費 1,650万円追加
- 生活道路整備事業費 2,000万円追加
- 子宮頸がんワクチン・ヒブワクチン
・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業 494万円追加
- 道路視線誘導標設置工事 300万円追加
- 住民生活に光をそそぐ基金積立金 900万円追加
- 消費者行政推進費（広報車購入等） 211万円追加
- 町議会議員補欠選挙費 272万4千円追加
- 県営基盤整備事業費負担金 1,450万円追加
- 障害者福祉費 888万7千円追加
- 人件費 457万円減額
- 湖東地区行政一部事務組合負担金 380万1千円減額

□平成23年3月31日任期満了に伴い人権擁護委員に石井通子さん（八幡・再任）を推薦することについて承認されました。

また、髄膜炎やその他の侵襲性感染症予防のための、小児用肺炎球菌ワクチン接種については、標準的な接種パターンは、0歳時3回、1歳時に1回の追加接種となりますが、ヒブワクチンと同じく初回接種時の月齢（年齢）により接種回数異なります。接種費用は1回当たり、1万円程ですが、同様に国45割、県5割、町50割の助成を行い、接種は無料で受けられます。

なお、現在いずれの疾病も予防接種法に規定されている疾病に該当しないことから、当面、任意接種として助成していく予定です。その点を含め、今後、学校や保護者等に説明していきたいと考えています。

④地域情報推進工事の進捗状況

平成22年4月15日、東日本電信電話株式会社と工事請負契約を締結した地域情報推進工事（光ファイバ網敷設及びI-P告知システム施設整備）の進捗状況については、当初、道路や河川の占用手続きに時間を要しましたが、8月に幹線ケーブル敷設工事に着手し、11月上旬には、ケーブルの敷設を終了しております。

また、10月からはケーブル敷設と合わせ、宅内にI-P告知システム（新有線放送施設）の設置を開始し、12月11日現在、申し込みのあった設置予定1,689台のうち、1,438台の設置を完了しています。

なお、宅内に設置された時点から通話やチャンネル放送、ページング放送等の利用が可能となりますので、設置後は電源を抜いたりせず、通話や放送を試していただき、その際、通話に雑音が入らないか、聞き取りにづらくないか、チャンネル放送（1・2チャンネル）が入らない等、不明な点がありましたら、役場総務課へ連絡してください。

11月より旧有線放送と新有線放送の両方で放送している定時放送は、12月中旬以後、新有線放送のみに切り替え、旧有線放送設備の撤去準備に入りたいと考えています。年内には設置工事も概ね完了する予定となりますので、不具合がありましたら

早めに申し出てください。今後、新たに設置する場合や機器の取付けは、工事費の一部が有料となります。次に、12月15日からサービス開始となる光インターネットサービスの申込み状況についてですが、受付は9月下旬から開始され、12月8日現在、484件の申し込みがあった旨の報告を受けております。本事業の計画にあたり、総務省に提出した見込み数は、当初の目標数を397件（5年後の見込み数は619件）としておりましたので、予想以上に関心が高く、しかも当初よりサービスを受ける方が多いことから、今後は広報手段の一つとして活用していきたいと考えています。

⑤除雪対策について

今冬の除雪対策については、「平成22年度除雪計画」に基づき、町道実延長12.9^キのうち、幹線連絡道路及び集落内道路93・5^キを7プロックに分割し、町内7社に委託しております。また、歩道の除雪は通勤通学路を中心に14^キを町内4社に委託しております。委託業者に対しては、11月下旬に除雪会議を開催し、作業中の事故防止、町内会との連携を図る等、万全の除雪体制で臨むよう指示しております。

また、急な坂道、急カーブ、交差点等の危険箇所には、例年のおり融雪剤を散布し対応する予定です。

民生委員・児童委員は、 地域の中で 相談や支援を行う ボランティアの方々です

住民からの社会福祉に関する相談に応じて、
様々な支援を行います。
地域に根ざした福祉活動を実践し、
あたたかな地域社会づくりをめざします。
困りごとや悩みなど、気軽に相談ください。



小玉 満江さん
(寺沢)



菅生 麻子さん
(仲台)



伊藤 靖子さん
(大倉)



齋藤 良治さん
(赤沢)

◇あなたの地域の民生・児童委員を紹介します◇

氏名	町内	有線	担当地区
菅生 麻子	仲台	3936	仲台、大麦
小玉 満江	寺沢	3885	寺沢、蒔田、館岡
齋藤 良治	赤沢	4205	赤沢、綱木沢
伊藤 靖子	大倉	3483	八幡、大倉、保野子
伊藤 幸子	宇治木	3531	宇治木、小泉の一部
渡部 チヨ	新聞	3704	小泉の一部、新聞
齋藤 秀満	海老沢	3125	海老沢
湊 勉	横岡	3354	坂本、横岡
白川 節子	坂本	3088	飛塚、大野地
佐藤 利道	中下村	3040	上村、中下村、小竹花
伊藤 嘉道	羽立	2622	羽立 (1区～4区、11、12区)
半田 キヨ	羽立	2532	羽立 (5区～10区)
齋藤 芳雄	田中	2792	田中
鈴木 美和子	街道	4828	街道の一部
佐藤 チヨ子	新屋敷	2501	新屋敷、さくら
中山 富治	小今戸	2294	小今戸
伊藤 哲彦	今戸	2036	今戸 (1区～8区)
伊藤 道子	今戸	2226	今戸 (9区～16区)
伊藤 節子	街道	4705	街道の一部

【主任児童委員】

細川 英子	街道	4707	町内全域
森田 和文	小今戸	2284	町内全域

※大台・井内町内を担当する民生・児童委員については、決定次第
広報いかわ等でお知らせします。

民生委員・児童委員は、地域の福祉を支えるボランティアです
民生委員とは、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行うなど、社会福祉の増進に努める方々です。また、「児童委員」を兼ねています。
児童委員は、地域の子もたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子

育ての不安や妊娠中の心配ことなどの相談・支援等を行います。また、児童に関する「主任児童委員」がいます。
なお、民生委員・児童委員の任期は3年となります。
◇◇◇◇◇
去る12月6日、役場大会議室にて、井川町民生・児童委員委嘱状交付式が行われ、齋藤町長より委員それぞれに委嘱状が手渡されました。

功績をたたえて

長年の活動が認められ、表彰された方を紹介します。

◆秋田県知事表彰

井川町民生・児童委員の伊藤靖子さん(大倉)は、平成7年12月に同委員に就任以来、15年の長きにわたりその職務に精励されてきました。この度、その功績が認められ秋田県社会福祉功労者表彰を受けられました。



白川 節子さん
(坂本)



湊 勉さん
(横岡)



齋藤 秀満さん
(海老沢)



渡部 チヨ子さん
(新間)



伊藤 幸子さん
(宇治木)



鈴木 美和子さん
(街道)



齊藤 芳雄さん
(田中)



半田 キヨ子さん
(羽立)



伊藤 嘉道さん
(羽立)



佐藤 利道さん
(中下村)



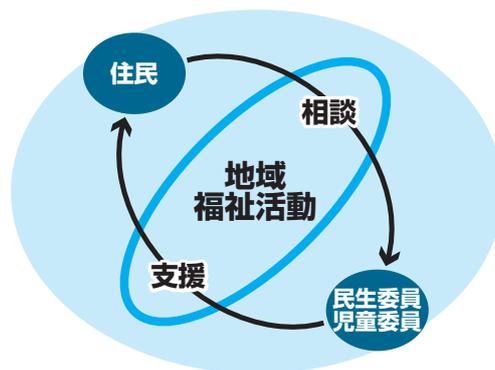
中山 富治さん
(小今戸)



佐藤 チヨ子さん
(新屋敷)



伊藤 節子さん
(街道)



伊藤 道子さん
(今戸)



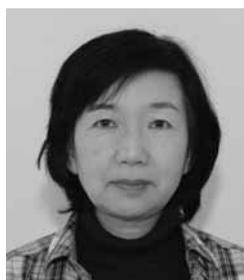
伊藤 哲彦さん
(今戸)

委嘱状の交付にあたって齋藤町長から「景気が低迷している中で若者の就職難や子育て世帯の所得減、核家族化や高齢者世帯の増加等による家庭内や地域での相互扶助力の低下、地域コミュニティの弱体化などが懸念されている。行政だけでは目の行き届かないところもあるのも事実。地域生活を支え合うために民生・児童委員の皆さんからご尽力いただきたい」とあいさつがありました。

引き続き行われた井川町民生・児童委員協議会では、会長及び副会長等が選出され、会長に伊藤嘉道さん(羽立)、副会長に伊藤節子さん(街道)がそれぞれ再任されました。



森田 和文さん
(小今戸)



細川 英子さん
(街道)

【主任児童委員】

相談した秘密は守られるの？
民生・児童委員には守秘義務があり、相談の内容など秘密は守られます。

どんな活動しているの？
地域住民の方が安心して暮らせるように、福祉・介護のことや子育てのことなど様々な相談を受け、行政など関係機関等と連携して必要な支援につなげていきます。

委員は誰が委嘱しているの？
市町村の民生委員推薦会から推薦された者について、厚生労働大臣が委嘱します。

【民生・児童委員Q&A】

町内会長会議

12月10日（金）役場大会議室

町内会からの要望を中間報告

今後、事業精査して予算化を検討

平成22年度・第2回町内会長会議が12月10日、役場大会議室で開催されました。

開会にあたり齋藤町長から「今年度は街灯を集中的に整備するなど、出来ることを優先的に対応してきた。今後は各町内会からいただいた要望事項をさらに精査し、必要な事業を来年度に向け予算化していきたい」とあいさつがありました。



また、会議では役場各課より、連絡事項の説明がありました。内容は次のとおりです。

- ・住宅用火災警報器の設置について
 - 平成23年5月までに既存住宅への設置が義務づけられている住宅用火災警報器について、設置の勧奨にご協力いただきたい。
 - ・町内の空き住宅の状況について
 - 町消防団を通じて実態調査を実施した。今後も継続して持ち主及び管理者への聞き取り調査を行い、管理状況の把握につとめていく。
 - ・除雪について
 - 路上駐車や障害物等の除去にご協力いただきたい。
 - ・IP告知放送システム（有線放送）の宅内工事等の進捗状況について
 - 宅内設置工事の完了後、順次、旧有線放送設備の撤去作業を進めていく。
 - ・光インターネット接続サービスの加入申込み状況について
 - ・無料巡回バスの運行状況について
 - ・投票所の変更について
 - 2月実施の井川町長等選挙から9投票所を5箇所に変更する。
- その後、町内会長らより、災害関連や除雪対応などについての質疑・要望が交わされました。

納税貯蓄組合長会議

12月24日（金）役場大会議室

町税等の納付状況について報告

12月24日、平成22年度・第2回井川町納税貯蓄組合長会議が役場大会議室で開催されました。



会議では齋藤町長のあいさつに続いて町税等の納付状況（平成22年12月1日現在）について、役場総務課税務班より説明が行われました。納付状況は次のとおりです。

◇平成22年度町税等の納付状況（単位：千円）

		納めるべき額 (調定額)	収まった額 (収納額)	収納率
町	民税	148,374	109,250	73.63%
内訳	個人分	128,368	89,528	69.74%
	法人分	20,006	19,722	98.58%
固定資産税		235,578	223,999	95.08%
軽自動車税		12,246	11,820	96.52%
たばこ税		23,831	23,831	100.00%
町税計		420,029	368,900	87.83%
国民健康保険税		92,533	79,099	85.48%
総計		512,562	447,999	87.40%

※本表の金額等は平成22年12月1日現在のものです。

更生保護女性会から子どもセンターへ手づくりおもちゃが贈られました

更生保護女性会は、女性の立場から地域の犯罪予防活動と、非行などにより過ちを犯した人の更生支援活動を行い、犯罪のない社会づくりのための奉仕活動を行っています。

現在、本町の会員数は15名で主な活動は毎年7月に実施する「社会を明るくする



運動強調月間」において、保護司会等関係団体と連携しての啓発活動、福祉施設などへの清拭布縫い、町子どもセンターへの安全安心手づくりおもちゃの寄贈などを通じて、明るい社会を目指して活動しています。



▲ぬいぐるみで遊ぶ園児たち

このたび、町子どもセンターへ、野菜などを形取った手づくりのぬいぐるみが贈られました。ありがとうございました。

街のいい顔み~つけた!



伝言板

みんなと楽しく活動してみませんか

あつまれいがわっこ in 浜井川集会所 ミニがまくらをつくろう

- 日 時：1月22日(土) 午後2時～5時30分
- 会 場：浜井川地区集会所
- 対 象：5歳児・小学生（未就学児には保護者が付き添ってください）
- 内容：ミニがまくらづくり
・カレーライス、お菓子をみんなで食べよう！
- 募集人数・申込み先：1月13日(木)まで浜井川地区集会所へ（有線4495・加藤児童厚生員）。40人になり次第締め切らせていただきます。
- ※集会所は日曜・月曜日、12月30日～1月5日が休館となります。
- その他：参加費、持ち物等については申込み時に集会所にお問い合わせください。

合同厄祓い・還暦祭

- と き：1月29日(土) 午後1時
- 会 場：井川町公民館
- 主 催：合同厄祓い・還暦祭実行委員会
- 対象生年月日
☆33歳：昭和54年1月1日～55年4月1日
☆42歳：昭和45年1月1日～46年4月1日
☆還暦：昭和26年1月1日～27年4月1日
- 会 費：男5,000円 女4,500円
御祈祷、写真、懇親会、他代金
- 申込み：1月20日(木)まで会費を添えて公民館へ。

全町バスケットボール ・フリースロー大会

- 日 時：1月16日(日) 午前8:30
- 会 場：井川町民体育館
- 参 加：【男子の部】【女子の部】
1チーム5人以上10人まで
・フリースローは個人参加となります。
- 申込み：1月14日(金)まで体育館へ
ただし、フリースロー申し込みは当日

◎公民館 TEL874-4422、有線4443
◎体育館 TEL874-3668、有線4285

生涯学習だより 花いかだ

TEL(874)4422 有線4443

わんぱく雪祭り

- ★日 時 平成22年2月6日(日)
午前9時～12時
- ★場 所 町民体育館・野球場
- ※内容等については、後日、有線放送及びこどもセンター、小学校を通じてお知らせします。
- 楽しい遊びがいっぱい！
みなさん、誘い合って参加してください。
お問い合わせは、公民館へ。

男女共同参画社会づくり基礎講座 IN 井川 「これでいいのか?! 劇場」を上演

- 家庭や社会の中の固定的な性的役割意識。身近な問題から話し合うことで、それぞれの立場を理解し、意識を見直してみませんか。NPO法人いきいきFネット秋田の寸劇「これでいいのか?! 劇場」を上演しながら参加者とともに考え、意見交換します。
- と き：1月28日(金) 午後1時～2時
 - 会 場：井川町公民館
 - 内 容：○寸劇「これでいいのか劇場」
～笑うかどには、福来たる。
笑って、きづいて、変わろうよ!!～
○意見交換
 - 参 加：町民どなたでも参加できます。申込みは不要です。

町民ギャラリー

書道「書親会」展

会期：1月19日(水)～2月25日(金)

県内外で活躍している町の書家4人展です。ぜひ、ご覧ください。

1月の公民館活動

教室・講座	開催日時	会場
井川高齢大学	28日(金) 午前9時30分	公民館
和太鼓サークル	15日、22日(土) 午後5時	公民館
英会話教室	12日、19日、26日(水) 初級18:30 中級19:30	公民館



12/4

歌っておどって、元気いっぱい
こどもセンターまつり

この日、こどもセンターまつりが行われ、子どもたちの元気な姿を見ようと、園児の家族や地域の方々など大勢がこどもセンターを訪れました。

歌や踊りにとステージ上を元気な笑顔で彩る園児たちを、優しいまなざしで見つめる参観者たち。その姿から、会場内は温かな笑顔の輪が広がっていました。



12/4

交通死亡事故のない地域を心がけて
交通安全高齢者対策講習会

高齢者の痛ましい交通死亡事故を無くそうと五城目警察署及び町交通安全協会、町老人クラブ連合会が主催する交通安全高齢者対策講習会が町農村環境改善センターで行われました。

講習会では、五城目警察署員が管内での交通事故の状況について講話したほか、町安全安心パトロール隊員らによる夜間での反射材の有効活用が呼びかけられました。



12/5

芸術文化にふれて
第1回芸文フェスティバル

この日、井川町芸術文化協会（会長・齋藤牧雄氏）が主催する“井川町芸文フェスティバル”が開催され、会場の町農村環境改善センターは100人を超す来場者で賑わいました。

このフェスティバルは、「町民に元気を与えたい」と今年が第一回目。芸能発表では同協会の構成団体の中から10団体が舞踊や歌を披露し、会場から大きな拍手が送られていました。



12/8

手づくり鍋を囲んで心あったが
ひとり暮らし高齢者励励会

この日、老人福祉センターゆうゆうを会場に地域の一人暮らし高齢者を招いての交流会が行われました。

民生委員手作りの“だまご鍋”などに舌鼓を打つ参加者たちは、にぎやかな雰囲気の中での会食に「おいしいなあ」と笑顔をみせます。その後、民生委員らによる余興を楽しみ、心も温まる一日となったようでした。

功績をたたえて

◆ 文部科学大臣表彰



森田 千枝子さん
(小今戸)

森田さんは、秋田県生涯学習奨励員協議会会長などの要職を歴任し、地域の生涯学習活動の活性化など社会教育の振興に尽力され、その功績が認められました。

12月12日

井川町オープンバレーボール・ソフトバレーボール大会の結果

【オープンバレーの部】

(参加・6チーム)

優勝 井川中バレーボール部

準優勝 ヤンバルクイナチーム

【ソフトバレーボールの部】

(参加・5チーム)

優勝 ソフトバレーチーム

準優勝 翠香苑Bチーム

12/9

産学連携の取り組み状況を講話

井川町企業懇談会研修会

町内での企業交流を促進し、生産活動を活性化させようと組織する井川町企業懇談会（会長・鷲谷嘉三郎氏）の研修会が、役場大会議室で行われました。秋田大学産学連携推進機構長で秋田大学工学院工学資源学研究科の濱田文男教授を講師に迎えた講話では、産学連携の活動状況などが紹介され、「人口減や不況など問題を抱えたこの時こそ産学連携が重要になる」と説いていました。



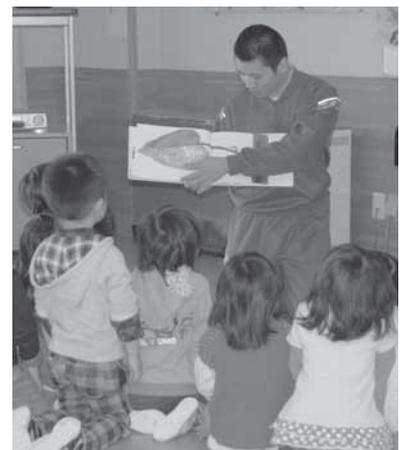
12/9、16

小さな手とつなぎ合って

井川中学生・こどもセンター園児と交流

井川中学生の世代間交流の一環として、こどもセンター園児たちとのふれあい交流が行われ、井川中3年生がこどもセンターを訪れました。

中学生のお兄さん、お姉さんによる絵本の読みきかせやお絵かき、縄跳びやドッチボールなどでふれあったほか、中学生有志による“仮面ライダーショー”が披露されるなど、いつも以上に元気を見せていた園児たちでした。



1月

くらしの 情報

除雪作業にご協力を！

冬期間の住民生活や道路交通の安全を確保するため、町では町道等を7ブロックに分割し、町内業者に除雪作業を委託しています。

除雪を行なう際は細心の注意をはらい作業にあたりますが、次のことについて住民のみなさんご理解とご協力をお願いします。

◎交通障害や事故の原因となりますので、宅地内の雪を車道等へ出さないでください。

◎玄関先から道路へ出る間口の除雪は各家庭でお願いします。

◎道路等への違法駐車は除雪作業の妨げとなります。

◎作業中は大変危険ですので除雪車にむやみに近づかないでください。

【問い合わせ】 役場産業課 建設班

電話(874) 4420 / 有線 4464

◇役場窓口業務の時間延長◇

毎週水曜日は午後7時まで住民票、印かん証明書の発行等の窓口業務を行っていますので、ご利用ください。

役場の電話番号・メールアドレス

URL <http://www.town.ikawa.akita.jp/>

ホームページに関すること
webmaster@town.ikawa.akita.jp

選挙管理委員会からのお知らせ

2月15日 告示、2月20日 投・開票となる「井川町長選挙」及び「井川町議会議員補欠選挙」の実施にあたり、両選挙の立候補予定者説明会を次のとおり行いますのでお知らせします。

【立候補予定者説明会】

□日時 1月26日(水)

午後1時30分から

□会場 役場2階大会議室

※説明会場へは立候補予定者1名につき、2名以内でおいでください。

【問い合わせ】

井川町選挙管理委員会

電話(874) 4411
有線 4577

国民年金窓口からのお知らせ

「老齢年金」の

源泉徴収票を送付します

厚生年金・国民年金の「老齢年金」など老齢(退職)を事由とする公的年金は、税法上の「雑所得」として所得税の課税対象となります。

このうち、「老齢年金」の受給額が一定額以上の方については、所得税が源泉徴収されることになっています。

□65歳未満の方 年額108万円以上

□65歳以上の方 年額165万円以上

日本年金機構では、平成22年1月から同年12月中までに「老齢年金」を受け取られている方全員へ、平成23年1月までに源泉徴収票を送付します。

※「障害年金」や「遺族年金」については課税の対象とならず、非課税となりますので、源泉徴収票は送付されません。

確定申告される方は、源泉徴収票を大切に保管してください

源泉徴収票は、税務署で年金以外に給与収入があり確定申告するときや、源泉徴収の還付を受けられるときに添付する必要がありますので、大切に保管してください。

万が一、源泉徴収票を紛失された場合でも再交付できますので、お近くの年金事務所や年金相談センター、または『年金ダイヤル』までお申し出ください。

【年金の相談】

年金ダイヤル(ナビダイヤル)

電話 0570(05) 1165

【問い合わせ】

秋田年金事務所 国民年金課

電話 018(865) 23090

役場町民課 健康福祉班 国民年金係

電話(874) 4417 / 有線 4432

総務課	
総務班 soumu@town.ikawa.akita.jp	874-4411
税務班 zeimu@town.ikawa.akita.jp	874-4414
町民課	
町民生活班 tyoumin@town.ikawa.akita.jp	874-4416
健康福祉班 kenkou@town.ikawa.akita.jp	874-4417
産業課	
産業振興班 sangyou@town.ikawa.akita.jp	874-4418
農業委員会 nougyou@town.ikawa.akita.jp	874-4419
建設班 kensetu@town.ikawa.akita.jp	874-4420
水道課 suidou@town.ikawa.akita.jp	874-4421
出納室 suitou@town.ikawa.akita.jp	874-4412
教育委員会 kyouiku@town.ikawa.akita.jp	874-4424
公民館 (農村環境改善センター)	874-4422
議会事務局 gikai@town.ikawa.akita.jp	874-4425

税務署から 平成22年分所得税・消費税・贈与税の確定申告について

申告と納税は期限内に！

平成22年分確定申告の受付期間は、次のとおりです。

▽所得税

2月16日（水）～3月15日（火）

※所得税の還付申告書は2月16日より前でも提出できます。

▽贈与税

2月1日（火）～3月15日（火）

▽消費税（個人事業者）

1月4日（火）～3月31日（木）

「無料法律相談会」を開催

悩みごと、困りごとなど法律に関わる問題に弁護士が相談に応じます。相談は無料で秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。

□日時

平成23年1月18日（火）

午前10時から午前11時30分まで

□場所

井川町農村環境改善センター

※相談は事前に予約が必要です。

【予約申込み・問い合わせ】

井川町社会福祉協議会

電話（074）2611 / 有線4451

インターネットで確定申告

国税庁のホームページ（www.nta.go.jp）「確定申告書等作成コーナー」から、電子申告（e-Tax）が簡単な操作で行うことができます。また、税務署へ提出用の申告書等を印刷することもできます。「e-Tax」を利用するには事前の手続きが必要ですので、詳しくはホームページをご確認ください。

申告書作成会場を開設します

「申告書作成会場」は、所得税（譲渡所得を含む）・消費税・贈与税の申告書を作成する会場です。なお、税務署内には作成会場を設置しておりませんので、申告書を作成する方は次の会場をご利用ください。

□会場 ポートタワーセリオン2階 イベントホール

□開設期間 2月1日（火）から 3月15日までの平日

□開設時間 午前9時～午後4時

※2月20日および2月27日の両日曜日に秋田北税務署・秋田南税務署合同で秋田県労働会館・フォーラムアキタに申告書作成会場を開設します。

【問い合わせ】

秋田北税務署

電話018（845）1116

年末年始◆公共施設等の業務日程

施設名	12月28日	29日	30日	31日	1月1日	2日	3日	4日
役場	○	×	×	×	×	×	×	○
診療所	○	×	×	×	×	×	×	○
定住促進センター	○	○	○	×	×	×	定休	○
ゆうゆう	○	定休	○	×	×	×	×	○
ごみの収集	○	○	○	△	×	×	×	○

※○は通常営業、×は休業、定休は定休日です。
※ゴミの収集について31日は午前のみ受付します。
※4日以降は通常営業となります。

町内巡回バス運行時刻変更のお知らせ

	12月28日	29日	30日	31日	1月1日	2日	3日	4日
巡回バス	○	○	○	△	△	△	△	○

※12月31日～1月3日までの期間は「土・日・休日」の時刻表での運行となります。
なお、同期間中は【「さくら号」⑤ゆうゆう帰る】は運休となりますのでご注意ください。

秋田県町村会職員採用試験

秋田県町村会では、平成23年度事務局職員新規採用試験を行います。

□試験区分等 上級一般事務（1名）

□受験資格 昭和56年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた者及び平成元年4月2日以降に生まれた者で大学卒または平成23年3月卒業見込みの者

□受付期間 1月5日（水）から 1月24日（月）まで

□試験日 2月6日（日）

【問い合わせ】秋田県町村会総務課

電話018（866）3351

福祉サービスを利用される方へ

福祉サービスの苦情解決を

お手伝いします

思っていたサービスの内容と違う」「くわしく説明してくれない」など、不満や要望を、利用している事業所に話しにくい場合や、話し合ってもなかなか解決しないときは秋田県運営適正化委員会（秋田県福祉サービス相談支援センター）へご相談ください。

【問い合わせ】秋田県運営適正化委員会

電話018（864）2726

見て！ みて！

「ままここ*カフェ」開催します

ままここクラブは、子育て中のママを中心とした育児サークルです。ママひとりでの参加も大歓迎！

□日時 1月27日(木) 10時～12時

□場所 今戸児童館

□参加費 お茶・菓子代として200円

※マイカップ持参をお願いします。

※絵本の読み聞かせもあります。

※くわしくはブログをご覧ください。

<http://blog.go.ne.jp/sakuramamacoco/>

【問い合わせ】 さくら*ままここくらぶ

電話(874)3707〈藤田〉

有線 2812〈中山〉

秋田地方務局からのお知らせ

「市民講座」を開催します

この「市民講座」は法務局職員等が、法務局で取扱っている登記、戸籍、国籍、供託及び人権保護等に関する基礎的な知識について、地域のみなさんにわかりやすく説明し、暮らしに役立てていただくこうと実施するものです。

□日時 1月17日(月)

13時30分～15時

□会場 秋田地方務局5階会議室

□内容 知っておきたい「相続」のこと
※事前に電話等でお申込みください。

【問い合わせ】

秋田地方務局総務課

電話018(862)1428

秋田県の出会い応援事業

「結婚支援セミナー」を開催します

あきた結婚支援センターが主催する「結婚支援セミナー」を開催します。

□日時 1月22日(土)

14時～16時30分

□会場 秋田ビューホテル4階光琳の間

□内容 “幸せ結婚相談所(日本テレビ系)”でおなじみの池内ひろ美さんによる講演ほか

※1月10日までに申込みください。

【問い合わせ】

あきた結婚支援センター

電話018(874)9471

「無料調停相談会」を開催します

□内容 家庭内の問題(夫婦関係・離婚)・親子関係、扶養、相続、遺言)、土地・建物・金銭のもめごと、多重債務問題、交通事故(補償)

□日時 1月21日(金) 10時～15時

□場所 裁判合同庁舎内(秋田市山王)

※当日受付し、順番に相談に応じます

【問い合わせ】 秋田調停協会

電話018(824)3121

秋田県議会議員選挙の

啓発標語を募集します

□応募資格 県内在住の方(年齢不問)

□応募方法 郵便はがき又はメールで応募ください。

□応募期限 1月12日まで(必着)

【応募・問い合わせ】

秋田県選挙管理委員会事務局

電話018(860)1150

E-mail senkan@pref.akita.lg.jp

「冬季労働災害防止キャンペーン」

を実施中！

積雪寒冷地に位置する秋田県では、例年冬季間において積雪や凍結による転倒、墜落、雪崩、交通事故など冬季特有の労働災害が多発しています。

次のポイントを確認して、冬季間の転倒災害や交通事故の防止につとめましょう。

- ・通路や作業面の除雪を励行し、安全通路を確保する
- ・凍結した路面等には融雪剤を散布する等凍結防止措置を行う
- ・衣服やズボンのポケットに手を入れたまま歩行しない
- ・冬用タイヤを装着し、急ハンドル、急ブレーキ、急発進を行わない
- ・橋の上、トンネル内とその出入口付近、日陰に入る前に減速する

【問い合わせ】 秋田労働局安全衛生課

電話018(862)6683

駐在所だより

井川警察官駐在所 有線4421
電話(874)2345

新年を家族で誓おう 交通安全

明けましておめでとうございませう。みなさまにおかれましては、希望に満ちあふれた新年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

「二年の計は元旦にあり」と言われますように、みなさまも新たな気持ちで「交通事故防止」の誓いを祈願されたことと思います。

交通事故のない安全で安心な生活は、県民すべての願いです。子どもや高齢者を含めた家族みんなで「交通事故に遭わない。交通事故を起こさない」ことを約束し合い、新年を笑顔で過ごせるようにしましょう。

新年を迎えるにあたって、平成23年秋田県警察運営の重点目標の中から、交通事故の抑止についてお知らせします。

【交通事故の抑止】

- ① 高齢者対策を最重要とする総合的な交通事故防止対策の推進
- ② 規範意識の確立のための交通安全教育の推進
- ③ 常習飲酒運転等悪質性、危険性及び迷惑性の高い違反に重点を置いた指導取り締まりの推進
- ④ 全席シートベルトの着用及びチャイルドシートの正しい使用の徹底
- ⑤ 自転車安全利用対策の推進
- ⑥ 交通安全施設等の整備拡充による安全・安心な道路交通環境の整備

ぼくたち、むしばなかったよ

1歳6カ月児健診で、
むし歯のなかった子どもたちです

「わいわい広場」まぐろっど

☆実施日 毎週月曜日
☆時間 9時30分～11時30分

【1月の予定】

日	内容	場所
11日	人形であそぼう	健康センター
17日	リズムであそぼう	健康センター
24日	雪遊びをしよう	こどもセンター
31日	鬼の面をつくろう	こどもセンター

※事前の申込みは不要。自由に参加できます。

わいわい広場だより

冬の健康管理

寒い冬の時期は、どうしても暖房器具に頼りがち。快適に生活する中で、「部屋が暖かすぎると、体の弱い子になってしまうのでは…」と心配するママやパパもいるでしょう。

ちょっと考えてみてください。大人でも暑がり、寒がりな人がいるのと同じように、子どもでも初めて冬を迎える赤ちゃん、風邪を引きやすい子、そうでない子と体質にも個性がいろいろあるのです。

ここで、冬をどう過ごすのか、ワンポイントアドバイス！ 冬季は室温15℃、湿度50%が適切だと言われています。部屋を暖め過ぎたり、衣服の着せ過ぎに注意し、時々窓を開けて換気することをおすすめします。

育児に正解が無いように、子どもの健康管理に対しても「これが絶対に正しい」ということはありません。子どもの体質をよく考慮して、それぞれに適した生活環境を心がけてください。

【問い合わせ】

井川町健康センター
電話 (874) 3300 / 有線 4455
井川町こどもセンター
電話 (874) 4152 / 有線 4305



鈴木 月晴ちゃん (坂本) 遠間 千愛ちゃん (中下村) 半田 秀太ちゃん (街道) 澤田石結彩ちゃん (街道)



湊 心美ちゃん (坂本) 齊藤 暖久ちゃん (坂本) 田中 莉子ちゃん (羽立)



保健だより ● 1月分

健康相談・母子健康手帳交付・わいわい広場

月日	健診名	内容	時間・会場
1月11日	健康相談	健康・栄養・睡眠に関する相談	9:00～17:00
24日	母子健康手帳交付	母子健康手帳・妊婦健康診査受診票の交付、保健指導、栄養指導	健康センター

すくすく学級・乳児健診

月日	健診名	対象者	内容	受付時間・会場
1月21日 (金)	すくすく学級	H22年10月生まれ	身体計測、保健指導 離乳食について	9:30～9:45 健康センター
	乳児健診	H22年9月、6月、3月、1月生まれ	身体計測、保健指導 内科診察、栄養指導	13:00～13:30 健康センター

○健診の時は、問診票、母子健康手帳、バスタオルをお忘れなく

○7ヶ月児 (H22年6月生まれ) は1時までに受付を済ませてください

予防接種

月日	区分	対象者	受付時間・会場
1月6日 (木)	MRワクチン接種	1期:平成21年1月4日～H21年1月7日生 2期:平成16年4月2日～H17年4月1日生	13:30～14:00 井川町診療所
1月24日 (月)	3種混合予防接種	初回:平成22年1月22日～H22年10月25日 生まれ児および7歳未満で未実施児 追加:1期初回(3回)終了後、1年を経た児	13:30～14:00 井川町診療所
1月31日 (月)	BCG接種	H22年7月29日～H22年11月1日生	13:30～14:00 井川町診療所
2月3日 (木)	ポリオワクチン投与	H21年8月1日～H22年11月4日生まれ および7歳未満で未実施児	13:30～14:00 井川町診療所

子宮がん・乳がん検診の予約

医療機関	実施日及び受付時間	予約受付先
秋田組合総合病院	電話予約は毎週月～金曜日の13:30～16:30 検診当日は8:00までに病院2階健康センターへ	病院・福祉活動室 電話880-3013
湖東総合病院	※子宮がん検診のみ(1月いっぱい終了予定) 電話予約は毎週月～金曜日の8:30～17:00	病院・福祉活動室 電話875-2100

食生活改善推進員養成講座・協議会研修会

月日	内容	受付時間・会場
1月18日 (火)	・食生活改善推進員養成講座 ・ウォーキング ・食生活プランの立て方(講話)	9:30～12:00 健康センター
1月25日 (火)	・食生活改善推進協議会研修会 ・レクダンス ・減塩学習会(講話、調理実習)	9:30～13:00 農環センター

みんなの ひろば



松岡 遊さん (街道)

天候を予測する仕事をして人々の役にたちたいと思います。



畠山 善暢さん (海老沢)

一級建築士になって、みんなを喜ばせたいです。



長嶋 朋希さん (街道)

ぼくは、ほうりつ家になりたいです。



ジョナサンの 楽しい英会話

After the Holidays

休日のあと

Christmas and New Years Day are important holidays in America.

クリスマスとお正月の休みはアメリカでは大事な休日です。

During Christmas, instead of fried chicken or Christmas cake, people eat a big meal like at Thanksgiving.

クリスマスの間はフライドチキンやケーキの代わりに感謝祭のような豪華な食事をします。

It usually includes ham or turkey.

この中には、ハムやターキーも含まれます。

Also, instead of New Year's cards, people send each other Christmas cards.

また、年賀状の代わりに、クリスマスカードを贈ります。

Henry : How was your holiday?

ヘンリー : 休日はどうだった？

Mike : Good. I spent a lot of time with my family.

マイク : よかったよ。家族とたくさん過ごしたんだ。

Henry : Same here. I ate too much though. I need to exercise.

ヘンリー : 同じだ。僕は食べ過ぎちゃった。運動しなきゃ。

Mike : Want to play some basketball?

マイク : バスケットやらない？

Henry : Sure. Let's go.

ヘンリー : いいよ。行こう。

短歌

井川短歌会詠草

さくら苑の誕生会に記念品を戴き感謝に胸つまり来ぬ
 フィナーレに全校児童は手話まじえ「世界は一つ」の合唱に湧く
 天満宮からのお守りを孫くれぬ われに効くらし心のビタミン
 悔いのあるわが歩み来し人生の残る未来は穏しくありたし
 カレンダーを剥ぐたび苦楽は去りゆきて一年早し師走に入りぬ
 大晦日近くの子等の集い来る餅搗き寄せ鍋作るは楽し
 病院の予約日なれば吹雪く朝夫に運転頼みて向かう
 米作り継ぐ若きは街中をトラクター響かせデモするを見る
 来る年も健やかなるを願いつつ師走の庭の木々を眺むる
 紺碧の玉川ダムを包むごと紅葉の錦日に輝けり
 まだまだ杖をつきつつ歩みおれど老の姿をかえること出来ず
 わが生の谷といべき昨年過ぎぬ あらたまの年を謹み迎う

工藤 美穂
 伊藤千代美
 鈴木 鉦造
 遠藤恵美子
 伊藤ミヤ子
 鈴木ヒロ子
 渡辺 京子
 斎藤富美男
 児玉千代子
 伊藤 陽子
 小林 タミ
 すずきいさむ

1月のカレンダー

- 4日(火) 官公庁仕事始め
 井川町消防団出初式
 (町農村環境改善センター)
- 8日(土) 湖東三町商工会賀詞交換会
- 10日(月) 成人の日
- 16日(日) 全町バスケットボール
 ・フリースロー大会
 (町民体育館)
- 26日(水) 井川町長・町議会議員補欠選挙
 立候補予定者説明会(役場大会議室)
- 27日(木) 農業委員会総会
- 28日(金) 男女共同参画社会づくり基礎講座
 (町農村環境改善センター)
- 29日(土) 合同厄払い・還暦祝い
 (町農村環境改善センター)

2月

- 6日(日) わんぱく雪まつり
 (町民体育館・町民球場)

図書カードが当たる

広報クイズ No.233

◆今月の問題

- (1) 今年、平成23年の干支は何ですか？
- (2) 今月号で紹介した1歳6カ月児検診で“むし歯のなかった子”は何人でしたか？

◆応募の方法

ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢を記入してください。

◆あて先

〒018-1596 井川町北川尻字海老沢樋ノ口78-1
 井川町役場 総務課 広報担当まで

◆しめきり

1月18日(火) 当日消印有効

クイズの正解者の中から抽選で3人の方に図書カードをプレゼントします。
 前回の答えは、(1)「高齢化社会のあしたを拓く～地域のつながりを力に」(2)平成23年2月20日でした。

わが家の アイドル



中道 蒼太ちゃん(1歳)

大野地町内

父・良智さん
 母・友里さん

姉さんと兄さんが、とっても大好きな甘えんぼの蒼太。3人仲良く、強くたくましく育ててほしいナ!!

ガンバル 高校生 240



秋田商業高校
レスリング部

齊藤 拳斗さん(2年・羽立)

今月は全国に名を馳せる実績を誇る秋商レスリング部で、日々、技を競い合いながら、より高みを目指している齊藤拳斗さんを紹介します。「井川中相撲部の先輩が秋商レスリングで活躍する姿にあこがれて」と入部のきっかけを話してくれた拳斗さん。高校進学時に相撲を選ぶか悩みはな

かったのか聞くと、「相撲とレスリングのどちらを選ぶか悩んだ時期もあったが、新しい競技に挑戦したい気持ちが強かった」と胸の内を明かす。中学生時代、相撲で鍛えた強靱なパワーに加え、より俊敏さも求められるレスリング競技。「相撲をやってきたせいか、膝をつく動作に抵抗があつてタックルが苦手。上半身を使う技だけのグレコローマン向き」とのこと。「全国タイトルをつかんだOBたちが練習に参加してくれ、直に全国レベルを感じる事ができるのが秋商の強み」と強豪の秘けつを話してくれた。昨夏には96kg級個人戦で全県を制しながら、インターハイ・団体戦で金帯を痛め、個人戦への出場を果たせなかった悔しさをにじませる。この夏へ向かう思いは、誰よりも強いー。

がんばった いかわっこ を紹介します

11月26日に開催された第53回全県小学校高学年児童図画・作文コンクールにおいて、井川小学校より参加した生徒の中から3名の生徒が入賞されました。

コンクールは、図画の部・作文の部のそれぞれに分かれて行われ、当日、会場で出題された課題を制限時間内に図画または作文で表現するもの。両部門を合わせ小学校5、6年生の111名(全県から13校)が参加。井川小学校からの参加は、今回が初めてとなります。

図画の部では「私にとつての宝物」を課題に制限時間100分、作文の部は「涙」を課題に制限時間60分で競われました。

審査の結果、図画の部で井川小5年生の北野恋さんが銅賞に入賞したほか、同5年生の八柳沙耶さんが奨励賞に、また作文では同じく5年生の山田悠介さんが奨励賞に選ばれました。

「色を混ぜて作るのが難しかった」と感想を話す北野恋さんは心臓を題材に宝物を表現。八柳沙耶さんは「お母さんと一緒に植えた花だんに水やりをしているところ」を描きました。

また「具体例を使って、相手にどう伝わるか考えて文章を書くのが難しかった」と話す山田悠介さんは、原稿用紙3枚をいっぱいを使い、悲しい涙とうれしい涙を作文に表しました。

【図画の部】銅賞



北野 恋さん
井川小5年

【図画の部】奨励賞



八柳 沙耶さん
井川小5年

【作文の部】奨励賞



山田 悠介さん
井川小5年



八柳 沙耶さん・画



北野 恋さん・画

人口などの動き

(12月1日現在)

人口	男	2,617人 (-44)
	女	2,930人 (-80)
	計	5,547人 (-124)
世帯数		1,771戸 (-15)

()内は前年同月との比較

慶

弔

だより

(11/21~12/20届出)

■お誕生おめでとう

坂下 響紀 (英明、陽子)

4月からの出生数 18人

■ご結婚おめでとう

高橋 義行 (上 村)
一関おり枝 (五城目町)

嶋山 隆基 (北秋田市)
伊藤ひとみ (坂 本)

山田 克成 (にかほ市)
伊藤 郁恵 (今 戸)

磯部 直樹 (潟上市)
半田 歩美 (田 中)

■お悔やみ申し上げます

伊藤鋼二郎 (80歳・宇治木)

齋藤ヨシエ (81歳・綱木沢)

伊藤ミサヲ (87歳・羽 立)

鎌田 良藏 (86歳・今 戸)

小野キヨエ (90歳・綱木沢)

小林 耕作 (83歳・綱木沢)

鈴木マツノ (91歳・保野子)

伊藤 洋子 (47歳・小 泉)

善意

■地域福祉基金・ふるさとづくり基金へ

・街道町内の佐々木俊美さんより、亡母フクノさんの香典返しとして

・羽立町内の伊藤洋勇さんより、亡母ミサヲさんの香典返しとして

・ふるさとづくり基金へ、大阪府の大谷ナツ子さんより

・ふるさとづくり基金へ、大阪府の渡辺啓子さんより

・ふるさとづくり基金へ、東京都の鈴木隆雄さんより

“ありがとうございました”

編集雑記
ひとりごと
▼年の瀬を迎えて寒さの厳しい日が続いておりますが、皆さんは体調など崩されていませんか？日々過ぎゆく時間の早さに追われながらも、毎月一回の広報紙を無事に発行できたことにほっと胸をなでおろしています。旧年中の町の動向を振り返った「いかわこの一年」。昨夏は気温が高く、連日真夏日のオンパレードでしたが、のど元過ぎれば、のごとくあっさり記憶の網目からこぼれ落ちていることに苦笑い。▼新たな年の始まりにあたり、皆さんを和ませるような出来事を数多くお伝え出来すことを願って、今年も『広報いかわ』をよろしく願います。(株)

施設の利用状況 (11月)

()内は4月からの累計

■町内無料巡回バス	2,704人 (19,512人)
■環境改善センター	645人 (7,948人)
■歴史民俗資料館	4人 (96人)
■町民体育館	1,232人 (10,159人)
■町民武道館	1,370人 (4,791人)
■町営野球場	232人 (7,888人)
■スポーツ交流館	1人 (642人)
■定住促進センター	1,250人 (9,836人)
■日本国花苑施設	1,010人 (12,693人)
■老人福祉センター	1,411人 (10,956人)
■ごみ処理場	85 t (727 t)
■し尿処理場	60 kl (484 kl)